



ほけんたより



西小保健室

NO. 3

H30.5.25

感染性胃腸炎(ノロウイルス)に注意!

先週から、おう吐、下痢の症状で欠席する人が増えてきており、中にはノロウイルスと診断が出ている人もあります。学校でおう吐する場合もあり、学校などの人がたくさんいるところでは、ヒトからヒトへ感染が広がってしまうことがあります。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は感染力が非常に強く、少量のウイルスでも感染することがあります。

おしらせです??

- 感染した人の便やおう吐物（吐いたもの）から感染する場合。
- ウイルスが感染者を介して食品につき、その食品を食べた場合。
- ウイルスに汚染された食品を加熱せずに食べた場合。
- 乾いて舞い上がったおう吐物を吸い込んでからだの中にはいる場合。

おぼえましょう??

- 食品は、中心温度 85 度以上で1分以上加熱する。
- まな板、包丁、ふきんなど調理器具をよく洗い熱湯や塩素系の漂白剤で消毒する。
- 下痢やおう吐物などの症状がある人は、調理、配膳をしないようにする。
- しっかり手洗いをする。（食事の時は、とくにていねいに!!）
→ウイルスをあらいながそう!!

かたてまつたい??

- からだの中にウイルスが入ってから、24～48時間で激しいおう吐や下痢、腹痛が起こり、1～2日ほど続きます。
- ノロウイルスには直接効く薬はありません。症状が続くと脱水症状を起こすことがありますので、水分を取り、あたたかくして安静にしましょう。
- おう吐や下痢を繰り返すときは、早めに病院に行きましょう。



おう吐物や便には大量のウイルスが含まれているため、おうちの方へ二次感染が起こる可能性があります。しっかり消毒をして、感染予防しましょう。高齢者や小さなお子さんのいるご家庭は、特に注意してください。学校でも給食前の手洗いの徹底や校舎内の消毒などの対策を行っています。いつもと違った様子がないかおうちでも健康観察をお願いします。

【学校でのおう吐・下痢時の対応について】

感染性胃腸炎の流行期に、学校でおう吐や下痢のために衣類が汚れてしまった場合は、感染拡大予防のため、衣類をそのままビニール袋に二重に入れておうちに持ち帰って消毒していただくという形をとりたいと思います。

ご協力をよろしくお願ひいたします。